

2010年度

| | | | |
|---|--|-----|-------|
| 科目名 | 心理学A | | |
| 担当教員 | 広沢 俊宗 | | |
| 配当 | 文 1 | コード | 15070 |
| 開期 | 前期 | 講時 | 月曜日5限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 大学生生活の心理学 | | |
| 目的と概要 | 高校から大学へスムーズに移行し大学生生活に適応するためには、まず、両者のちがいを十分に認識する必要がある。この科目では、「大学での学び」、「自分という存在」、「他者や社会との関わり」について、心理学的視点から学んでいくことにより、大学生生活への適応を容易にし、さらに充実させることを目的とするものである。 | | |
| 成績評価法 | 小レポートなどの平常成績(20%)と定期試験(80%)をあわせて、100%で評価する。 | | |
| テキスト | 藤本忠明・東正訓／ワークショップ大学生生活の心理学／ナカニシヤ出版 適性開発研究会編／『JOHO—CAB検査』／情報センター | | |
| 参考書 | 藤本忠明・東正訓／ワークショップ心理学／ナカニシヤ出版 | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 授業を1/3以上欠席すると、定期試験の受験資格を喪失するので注意すること。 | | |
| 講義計画 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学と大学生生活 心理学という学問領域について理解し、大学生生活との接点を考察する。 2. 学びの心理学 (1) 学ぶ技術を再点検しよう。 3. 学びの心理学 (2) 学習特性を自己分析しよう。 4. 学びの心理学 (3) 効果的な学習法を身につけよう。 5. 自己の心理学 (1) 私たちは世界をどのように認識しているのか。 6. 自己の心理学 (2) どのように成長してきたか-他者との出会いのはじまり- 7. 自己の心理学 (3) どのように成長してきたか-社会性と共感性の発達- 8. 自己の心理学 (4) 自分の性格を知る。 9. 自己の心理学 (5) 大学生の心の健康について理解する。 10. 他者と社会とのかかわり (1) 出会いから友人関係が深まるまでの過程を理解する。 11. 他者と社会とのかかわり (2) 集団と個人の間を考察する。 12. 他者と社会とのかかわり (3) 悪徳商法にひっかからないために 13. 他者と社会とのかかわり (4) 交通事故に遭わないために 14. 他者と社会とのかかわり (5) 卒業後の進路を考えよう。 15. まとめ 今までに学んだ内容から、大学生生活について再考する。 | | | |